

-----6月30日-----

※ 今週のアウトルック (6/30~7/4)

先週は小動きな中、週末にはもう一段円高が進んだ通貨ペアが多かったようです。ポンドや豪ドルなどの上昇トレンドも一休みといった感じです。

今週は木曜日に米国雇用統計を控え、今までの反動から、そろそろ大きく動き出す可能性が高いようにも思います。

雇用統計にサプライズ的な要素を示唆するような情報には、充分注意が必要なように思います。

先週のドル円は、101.6円付近のサポートでなんとか持ちこたえていましたが、金曜日には101.4円まで下落して終了しています。

週前半にも101円付近まで一度下落する可能性が出てきたように思います。ただ、いずれにしても米国雇用統計の結果を予測した動きに、最終的には支配されることとなりそうです。

米ドル円の予想レンジは100.8円から102円です。

先週ユーロドルは、安値からのリバウンド上昇を継続していますが、ユーロ円は、もう一段の下落をなんとか持ちこたえている状況です。

今週、もし138円を割り込んでしまうと、136円付近までの下落の可能性が浮上してくるようには思います。

ユーロ円の予想レンジは136円から139.5円です。

ポンド円は、上昇トレンドの小休止に入っているようです。今週、174円超えの勢いを見せれば、当面はこの上昇トレンドが続くと思われます。

ポンド円の予想レンジは172円から175円です。

サッカーワールドカップ終了後、一気に動き出す可能性も否定できないところですが、その前に米国雇用統計の結果次第では、待ちきれずに動き出す可能性も、考慮する必要があるようです。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。